

## ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書



## ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やす、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

## 1 整備提案の概要について

整備提案名	地域のコミュニケーション基地 「うさきちハウス」づくり																		
提案グループ名	「うさきちハウス」づくり実行委員会																		
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	神奈川区 片倉町 2丁目																		
整備したい施設の概要	子どもたちが自分の責任で自由に遊べる場であるプレイパークでの活動を充実・発展させるための拠点を整備する。また、世代を超えて地域の「顔見知り」を増やすコミュニケーション拠点、地域の子育て関係団体やボランティアの連絡拠点、そして外遊びや子どもの育ちに関するインフォメーションセンターとしての機能を持たせる。計画、設計、構築、運営といったあらゆるプロセスで幅広い世代の人たちの協力を得、地域の交流の場としても開放する。																		
整備助成金申請予定額	500万円																		
設計及び整備のスケジュール	<table> <tr> <td>2006年12月</td> <td>町内会・地域に報告</td> </tr> <tr> <td>2007年 1月</td> <td>設計、人材の確保</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>木材等資材搬入、基礎工事開始</td> </tr> <tr> <td>4~5月</td> <td>建方、屋根工事</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>壁工事</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>建具</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>デッキ工事</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>外回り・設備</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>完了</td> </tr> </table>	2006年12月	町内会・地域に報告	2007年 1月	設計、人材の確保	3月	木材等資材搬入、基礎工事開始	4~5月	建方、屋根工事	6月	壁工事	7月	建具	8月	デッキ工事	9月	外回り・設備	12月	完了
2006年12月	町内会・地域に報告																		
2007年 1月	設計、人材の確保																		
3月	木材等資材搬入、基礎工事開始																		
4~5月	建方、屋根工事																		
6月	壁工事																		
7月	建具																		
8月	デッキ工事																		
9月	外回り・設備																		
12月	完了																		

## 2 創意工夫について

計画について工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ)	<p>■ワークショップ、コンペを通して、プレイパークでの利用ニーズを把握した。(2005年度)。</p> <p>■プレイパーク活動に必要なニーズに絞り込んだ設計を元に「こんなだつたらいいのにな」キャンペーンをプレイパークで展開した結果、来園者から以下のような要望が挙がった。子どもの着替え場所(15件)、食事場所(3件)、荷物置き場(15件)、乳幼児の昼寝場所(7件)、文庫(7件)、将棋・囲碁など(8件)、カフェ(3件)、おしゃべりスペース(3件)、情報交換(チラシ設置)(2件)、子育てグループの話し合い(4件)。</p>
---	---

<p>整備工事における地域での費用や労力の負担方法などについて工夫した点を記入してください。</p>	<p>■費用について 整備費用は、まち普請事業の助成の範囲内で収める。 ■労力について ①棟上げ以降、ボランティアで請け負える工程は自分たちでつくる。 ②地域の専門家を発掘し、講師になってもらい、皆で学びながら仕上げていく。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営計画及びその実施方法などについて工夫した点を記入してください。</p>	<p>■近隣の町内会長、プレイパークの支え手を含め、実行委員会を立ち上げた。実行委員会がハウスを運営する。また将来的には法人化によって組織の基盤を強化し、継続運営を図っていく。 ■維持管理費については、以下の方策で確保する。 ①一部を貸部屋とし、利用料を積み立てる。 ②講演会、リース作りや野外料理の講座などの自主事業を行い、運営協力費を徴収する。 ③オリジナルTシャツの販売により、安定した収入を確保する。</p>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整の結果について記入してください。</p>	<p>■近隣住民への説明会を現場で3回実施し、整備内容につき基本的な合意を得た。 ■連合町内会会长会議で説明・報告をし、協力を依頼した。 ■環境創造局の主導によりプレイパークのための「民設民営型のリーダーハウス設置」ガイドラインの作成に向け協議が進んでいる（資料1参照）</p>
--	---

### 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p>	<p>■乳幼児連れの保護者にとって、雨天時の着替えや食事の場所、授乳スペースの有無が遊びの場所を決める上で大きな要素となる。屋根つきで一定の囲い込みが可能なスペースは、外遊びに慣れていない親子に対するプレイパークの敷居を低くする役割を果たす。また、従来以上に乳幼児とその親に焦点をあてた活動を展開することができるようになる。 ■プレイパークの活動拡大に伴い必要となってきた運営拠点の設立により、プレイパーク活動自体をより活性化することができる。 ■地域の子育てグループの学習の場、雨天時の活動拠点不足の解消に寄与する。 ■地域の子育て支援関係者やボランティアなどのビジターセンターとしての機能を充実させ、子どもの育ちにおける外遊びの重要性の発信基地としても活用できる。 ■高齢化が進んでいる近隣の町内で、気軽に集える機会や町内会議の場所として貸し出しが可能となる。 ■緊急時の救護施設として、地域の防災センターとしての機能ももたらせる。</p>
--	--

## 5 費用対効果について

整備コスト縮減について工夫した点を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"><li>■整備内容を、プレイパークの活動に焦点を当てて絞込み、余分な設備、機能を削ぎ落とした。</li><li>■地域の工務店より格安の材料を仕入れるルートを確保した。</li><li>■既存施設撤去、建具、外溝、塗装工事等を実行委員会やボランティアの手で実施する。(延べ50人前後)</li></ul>
----------------------------	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。	<ul style="list-style-type: none"><li>■プレイパーク利用者の裾野を広げることで、子どもの遊びを介绍了地域の大人のつながり、「顔が見える関係」を強化する。</li><li>■ビジターセンターの機能を持たせることで、地域の「人材」資源を発掘できる機会となる。</li><li>■地域の声を吸い上げる場として、埋もれていたニーズや気持ちに応える形でコミュニケーションを活性化することができる。</li><li>■区や地域の子育てグループとの連携により子育て支援拠点となる。</li></ul>
--	--

## 7 特にPRしたい点について

提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。	<ul style="list-style-type: none"><li>■外遊びの機会・場の減少が子どもの育ちに対して与える負の影響が問題として社会的にも認知され始めている今、子どもが自由に遊べる場を提供するプレイパークの意義は大きいと改めて実感している。活動が拡大し週4日の連続開園を実施していく中で、子どもの日常の生活に寄り添いつつ安全を確保するためには、緊急時に連絡が取れる体制と、日々の子どもの様子などを情報共有し、申し送りをする事務スペースは不可欠である。</li><li>■運営の点からも、他の子育て支援団体との連絡拠点として、またビジターセンターとしての機能があることで、活動を更に発展させることができる。</li><li>■子どもに関わる事件が頻発している中で、子どもを見守る地域社会のネットワークを構築していくことの重要性が増している。うさきハウスは、公園という開かれた場で人々が一定の時間集い、顔見知りとなれるような場として有効だと考える。</li><li>■行政と協議を重ね、昨年の「民設民営型集会所設置要綱」とは異なる、「プレイパークにおけるハウス建設のためのガイドライン」作成を進展中である。</li></ul>
------------------------------	---

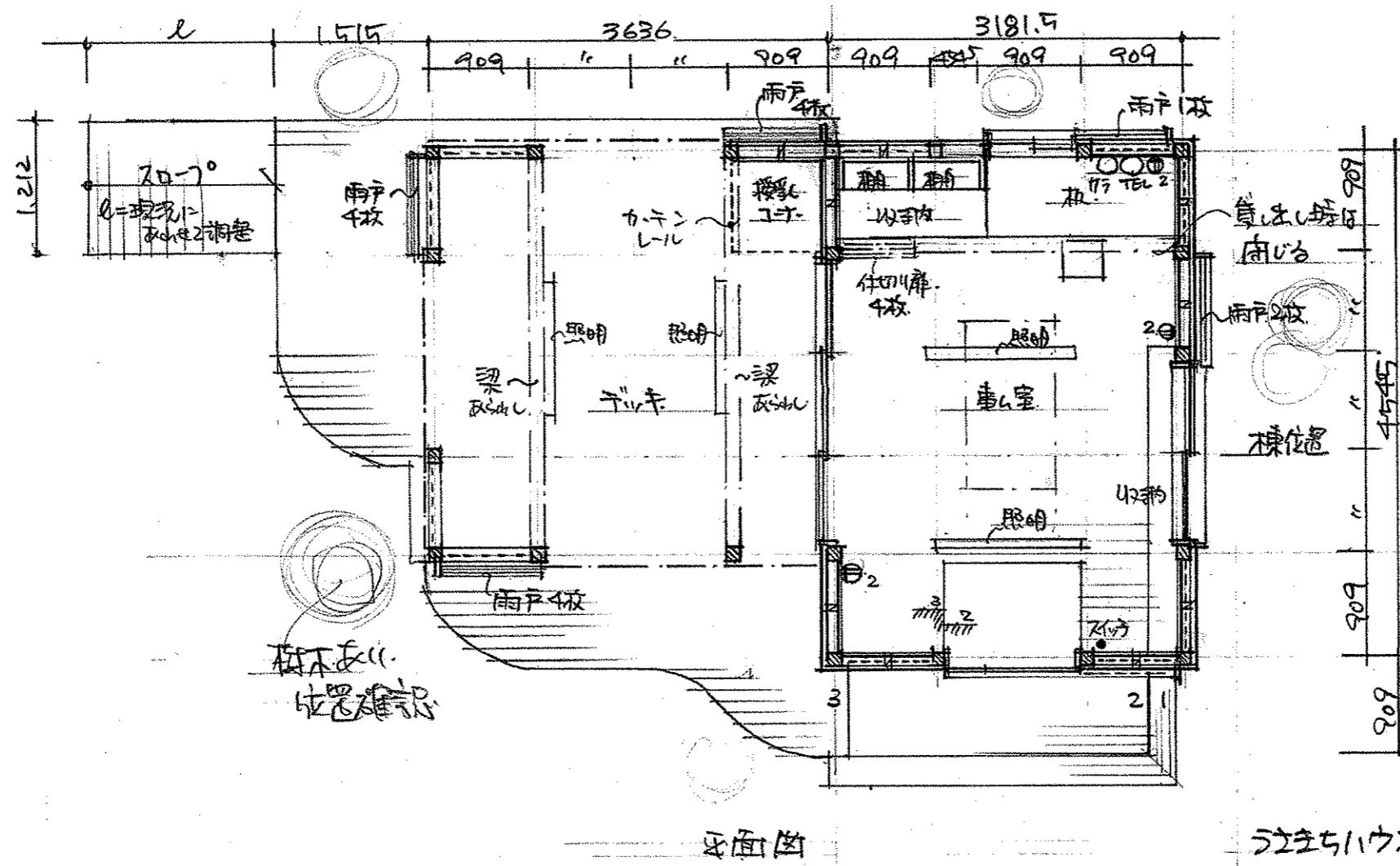
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報は含まれていません。



ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテスト うさきちハウス位置図

1



うさきちハウス 基本設計

0 1 2 3 4 5m.

## ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

## ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、複数の細目について、まとめて記入することもできます。

設備費	防災用設備 (材料費)	1式	10,000	10,000	労力負担 全作業を負担 3人×1日
合計			5,000,000		

主な整備項目	細 目	数 量	単 価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の 負担等)
設計費	図面作成	1式	500,000	500,000	
工事管理費		1式	500,000	500,000	
工事費	仮設工事	1式	229,250	229,250	
	基礎工事	1式	295,850	295,850	
	木工事	1式	2,462,550	2,462,550	
	屋根工事	1式	176,350	176,350	
	建具工事	1式	430,000	430,000	労力負担 雨戸製作工事 室内仕切工事 断熱工事 3人×6日
	塗装工事 (材料費)	1式	50,000	50,000	労力負担 全作業を負担： 5人×3日
	外溝工事	1式	206,000	206,000	労力負担 板張り工事： 5人×3日
	電気工事	1式	120,000	120,000	
	電話工事	1式	20,000	20,000	
	撤去工事	1式	0	0	労力負担 5人×2日